

南多摩病院、永生病院 熊本県地震被災地への 医療支援チーム派遣のご報告

この度の熊本県を中心とした地震により被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

熊本県を中心に発生した地震において、全国の私立病院が独自に組織した全日本病院協会災害時医療支援活動班 (AMAT) の医療支援チームとして、並びに東京都の医療救護班として、南多摩病院から1チーム、永生病院から1チーム、本部から1チームが熊本県に派遣されました。

派遣チームは医師、看護師、業務調整員 (救急救命士、リハビリ職員、事務職員) らの4名1チームで構成され、南多摩病院の第一次隊は16日夜に、永生病院の第一次隊は17日朝にそれぞれの病院救急車で八王子を出発。熊本市内の避難所や被災した支援先病院において、各チームでメンバー交代を行いながら当直を中心に医療支援を行いました。そして本部チームは物資の提供や情報収集に当たりました。

新聞や報道においても派遣チームの支援活動が取り上げられ、患者様から激励のお電話をいただきました。御礼申し上げます。

引き続き被災地支援の一助となれるよう尽力してまいります。

以上